



# あいじつ



開校 145周年

## 「多様でありながら、ひとつ」

副校長 福成 利之

2025年4月から、「日本国際博覧会」、略称「大阪・関西万博」が開催されています。子どもたちからも、「万博行ってきました!」、「夏休みに行きます!」などの声が聞かれます。

今回の「万博」は、1970年大阪万博、2005年愛・地球博に続き、20年ぶりに日本で開催されました。今回は、150の国と25の国際機関をはじめ、たくさんの企業やNGO・NPO、市民団体等が、世界中から集まっているそうです。

そんな万博のキーワードの一つに「多様でありながら、ひとつ」という理念があります。ニュースでもよく見る「大屋根リング」は会場のシンボリックなもので、日本の神社仏閣などの伝統的な建築方法に、現代の工法を加えて建設されたそうです。伝統と現代の技術を融合することで、未来を描き、実際は多くの施設をつなぐ役割を果たしています。

学校にも、いろいろな個性をもち、考え方も特性も違う子どもたちが通っています。学校生活の中で、その多様性を生かしたり、認めたりすることはもちろん、学級、学校、地域の一員として、一丸となって様々な活動に取り組むことで、子どもたちはより一層成長していきます。

7月11日には、愛日小学校の伝統でもある「愛日阿波踊り大会」が行われます。今年度はイングリッシュキャラバンでいらした方も参加します。下記の記事にもある通り6年生を中心に一丸となって準備しています。また法被の準備は、保護者の方々にご協力いただいています。未来をつくっていく愛日小学校の子どもたちが、地域の伝統を感じながら、「多様でありながら、ひとつ」となり、一人一人が輝く素敵な姿が見せられたらと考えています。

### 個人面談について

個人面談担当 富樫 孝太郎

お子様の学校生活での様子や成長を保護者の皆様と直接お話ができるよう、今年度も7月と12月の2回、個人面談を設定させていただきました。

7月の個人面談では、1学期のお子様の学校生活での様子や成長を保護者の皆様とお話しできればと思います。お子さん一人一人の学校や家庭での様子を情報交換できる時間は、大変重要であり、学校と家庭とが協力してお子様の学校生活を見守っていく上でも有意義であると考えています。

日程につきましては、先日すぐ一斉で配信しました「個人面談日時のお知らせ」をご確認ください。短い時間にはなりますが、よろしく願います。

### 阿波踊りについて

阿波踊り担当 木之下 諒人

今年も「愛日阿波踊り大会」の季節がやってきました。6年生は、かぐら連の方からご指導いただいたことを下級生に伝えたり、朝の練習では自主的に参加する日を増やしたりと最上級生として立派に取り組んでいます。

7月より、全校で練習を行い本格始動していきます。伝統行事を引き継いでいくことは大変なことですが、地域と学校を繋ぐ、大切な行事です。当日も暑くなることが想定されます。熱中症等に配慮し、児童全員がやってよかったと思える活動にしていきます。

保護者や地域の皆様には、引き続きご協力いただきますが、どうぞよろしくお願い致します。